

奥進システム

(大阪市中央区錦屋町2の2の4)

奥脇 学社長

インターネットを使ったシステム開発の奥進システムは2月21日から、自閉症や発達障害などの障害のある人のための「サポートブック」をインターネット上で作成・保存・共有できるサービス「うえぶサポ」の提供を開始した。障害の症状や特性などについて、匿名のまま伝えたい人に伝えたい部分だけ最新の情報を伝えることができる。利用料は無料で、すでに約50人が

自閉症や発達障害者サポート

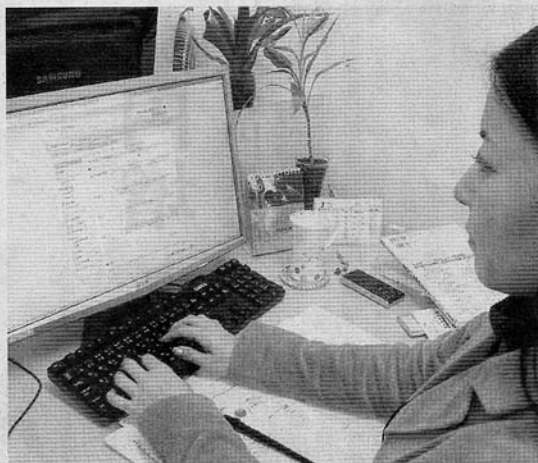
登録している。

サポートブックは、自閉症や発達障害などの障害のある人が生活をスムーズに行うために、学校の先生やヘルパーといった支援者など、障害の特性を知っておいてもらいたい人に情報を伝える手段。

例えば、本人がパニックになりやすい状況やパニックに陥った時の対応、使用している薬の処方、こだわりなどをあらかじめ伝えておくことで、健常者と障害者が共に生活することを円滑化する。

これまでは、ノートや紙に書いて渡していたが「うえぶ

ガイドに沿って入力すれば簡単に登録できる「うえぶサポ」の画面



ネットで「ツール」無料提供

サポートではインターネット上で作成。ユーザー名とパスワードの登録で利用でき、名前や住所、電話番号を記入しなくてもよいなど、個人情報保護にも配慮されている。

利用者は「うえぶサポ」のサイト (<http://atb.jp/www.support-book.jp>) にアクセスし、「プロフィール」「家族状況」「サポート情報」「連絡先」の4種類のカテゴリの中から記入する項目を選んで入力・保存する。登録した情報の中から、学校用や宿泊用など使用目的に合わせて項目を設定し、複数の公開パターンをつくることが可能。情報を伝えたい人にメールでURLとパスワードを伝えれば、閲覧可能となる。

奥脇学社長は「いいものを使ってもらい、保護者や当事者の困り感、負担が少しでも軽減できれば」と話す。

(木下功)

中小企業
トピックス